

第2期データヘルス計画のご報告

2018年より第2期データヘルス計画が始まりました。2023年まで、6年間の保健事業計画*です。

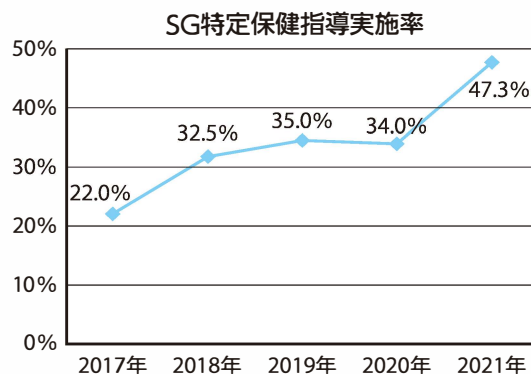
*データヘルス計画とは健保組合が持つ健診データや医療費の情報を基に総合的に分析して、グループの健康課題を浮き彫りにし事業会社と健保組合が協働し進めていく保健事業の計画書です。国から健保組合に作成と報告が義務づけられています。

1 肥満予防対策

- ① 特定保健指導実施率が、国の目標数値(55%)を満たしていない
- ② 肥満者割合の増加が止まらない

対策の方向性

- ① SG特定保健指導実施率向上
・2022年度60%→2023年65%
- ② 肥満予防教育体制強化・各社ごとの肥満予防対策支援

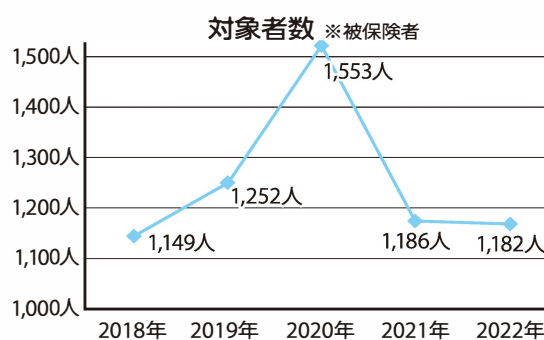


2 重症化対策

重症化している高血圧・糖尿病等の未治療者(治療中断者)が相当数いる

対策の方向性

- ① 保健指導体制整備
・会社・産業医・健保組合の役割分担の明確化およびルール化(具体的な手引きを含めた産業保健の仕組みづくり)
- ② 保健指導対象者の拡大

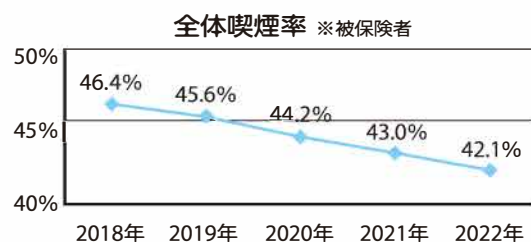


3 禁煙推進

- 男女とも喫煙率が全国平均よりも著しく高い
- 受動喫煙対策
- ハイリスク層へのアプローチ実施中(ぜんそく・がん・心脳血管疾患)

対策の方向性

- ① 喫煙率低減・2023年40%・会社組織(禁煙普及委員会)とともに環境整備
- ② 情報提供推進・冊子:赤ちゃんが生まれた家庭、ポスターおよび動画
- ③ ハイリスク層への個別アプローチ



高血圧に
気をつけて!

SG健保の加入者は
血圧が高い傾向です!

国の分析によると、当グループは他の集団よりも血圧リスクが大変高いことがわかりました。高血圧は症状がなく、サイレントキラーと呼ばれています。

健康診断で血圧が130~139/85~89が続いていたら、高血圧のはじまりのサインです。

